

## #4

## 医療科卒業生リレーエッセイ

職場での集合写真(筆者、写真前列右から二番目)



## プロフィール: 石橋 紀世 (2007年卒)

2003年に沖縄県立那覇高等学校卒業。同年4月筑波大学 看護・医療科学類 医療科学主専攻(当時)入学。2007年3月に卒業。同年4月、筑波大学付属病院 検査部に入職。遺伝子検査室、生化学・免疫血清検査室を経て、2011年1月つくば臨床検査教育・研究センター つくば i-Laboratory LLP に入職。免疫血清部門、血液検査部門を経て、2016年1月より現職の生化学・免疫部門 課長として検査業務・研究検査業務・次世代シーケンサ(NGS)業務に従事。

## 臨床検査の最前線から医療に貢献する

つくば臨床検査教育・研究センター つくば i-Laboratory LLP

検査部 生化学・免疫部門 課長

石橋 紀世

1期生の石橋紀世(いしばしのりよ)と申します。卒業生のリレーエッセイとして、私のこれまでの職歴や現在所属しているつくば臨床検査教育・研究センター つくば i-Laboratory LLP についての紹介をさせていただきます。と思います。

私は、沖縄県的那覇市出身で、筑波大学に進学を決めたのは、特に筑波大学に強い思い入れがあったわけではなく、医療分野で働きたいといった漠然とした気持ちと、医療短期大学から新たに「医学専門学群 看護・医療科学類 医療科学主専攻」が新設されたことを高校3年生の時の担任から知らされ興味を持ったところから始まりました。小学校から続けていたサッカー部を高校2年生でやめ、部活に未練を感じつつも3年生から受験勉強をスタートし、担任

の先生と進路相談をする中で、興味を持った筑波大学を推薦入試で受験することにしました。私が受験した時には、小論文が和文と英文で出題され、筆記試験ののち6人対6人の集団面接でした。英語はもともと苦手でしたが、「Science of Soccer」と運よく、ずっと続けていたサッカーに関する問題が出題され出題文を見た際に少し笑ってしまったのを記憶しております。

大学に入学してからは、慣れない科目に戸惑いながらも、初めて親元を離れ、初めはホームシックになったりもしましたが、友人にも恵まれ、今まで経験の無い軟式テニス部に入り、充実した大学生活を過ごすことができました。1期生だったこともあり、先生方は大学院(修士課程 フロンティア医科学専攻)への進学を強く進めてきた印象がありました。私は1年から3年と学年が上がり、4年生になってから当時は、卒業研究と病院実習のカリキュラムが並行してスター

ト、病院実習で、実際に働く検査技師さんの様子や患者さんを近くで見る機会が増え、病院で働きたいと思う気持ちが強くなりました。就職活動をする際には、患者さんの近くで仕事をしたいと、心エコーや肺機能の検査や脳波の検査を行う機能検査室への配属を希望していました。



検査部の同僚との写真

2007年の4月から筑波大学附属病院の検査部に入職したわけですが、面接で希望した機能検査室ではなく、遺伝子検査室に配属されることになりました。社会人1年目ということもあり、先輩技師にたくさん迷惑をかけながら少しずつ仕事を覚えていくのに必死の毎日でした。遺伝子検査室では、直接患者さんの近くで検査をする機会はなかったのですが、外来の採血室や、病棟採血での採血業務に従事する機会があり、患者さんの話を直接伺うことで、自分の対応や技術が少しずつ成長していることも感じる事ができ大きなやりがいでした。

遺伝子検査室で2年間検査業務に従事した後、生化学・免疫血清検査室へ異動となりました。生化学の分野は、学生の頃は少し苦手な印象があり、異動は気が重かったのですが、今となっては、そこでの経験が生化学分野について1番深く勉強したいという気持ちになったきっかけでもあり、当時指導して下さった先輩や上司にとっても感謝しております。その後、2011年1月に現在所属しているつくば臨床検査教育・研究センター（TMER: Tsukuba Medical Laboratory of Education and Research）つくば i-Laboratory LLP (TiLL) へ転職しました。ここからは、TMERとTiLLの事業についてなど現在携わっている仕事について紹介したいと思います。



i-Lab 同僚との集合写真

（以下、つくば臨床検査教育・研究センター ホームページより許諾を得て一部転載）

TMERとTiLLは、筑波大学附属病院が起案した産学連携の試みとして、臨床検査分野の教育・研究・診療の支援サービスを提供していきます。地域での共有・協同を前提としたオープンなラボ施設を開設し、これを拠点に、高度に整備された臨床検査分野の地域医療を支援する共通インフラとして、これまでにない新しい価値を形成し、地域医療の向上に貢献することを目指します。

臨床検査および検査結果は、疾病の治療方針の確定、選択、予後の推定を行ううえで必要不可欠なものとなっています。特に、地域の医療関係機関が連携して、地域全体で県民に良質な医療サービスを提供しようとする場合、臨床検査にかかる技術・精度の向上はそのまま、県民ならびに国民が受ける医療の質の向上につながります。本センターは、筑波大学附属病院検査部の協力を得て、オープンで総合的な臨床検査の教育研修・研究の支援活動を計画し、広く地域および全国の臨床検査技師の職能向上という形で還元することを目的としています。本活動の賛同者と連携を深め、相互に協力及び交流ができるネットワークを形成することで、大学の教員のみならず、地域に分散する教育スタッフの活動や能力を相互に発揮できる仕組みづくりを目指します。さらに、教育内容を充実・発展させ、各種認定・資格取得支援等の生涯教育活動ならびに臨床検査にとどまらない医療科学分野の研究活動支援を行っています。本センターでは、卒前教育として筑波大学 医療科学類を含め積極的に実習生の受け入れ指導にあたっており、その他にも卒業後教育として定期的に臨床検査技師に向けての研修会やセミナー等を開催しています。また、臨床検査の測定及び診断技術の向上プロジェクトでは、筑波大学附属病院と連携し、患者さんから研究に使用する試料・診療情報の保管と研究者への提供について承諾いただいた、ヒト及びヒト由来の試料を対象として行う共同研究事業も行っていきます（TMER ホームページ <http://www.tmer.or.jp/index.html>）。



つくば i-Laboratory LLP 外観 (HP より転載)

2016年6月より次世代シーケンサー（illumina社製:Nextseq500）が導入されました。2017年12月までに1000 Sampleを超える検体のゲノム解析をおこなっております。私も2016年の当初より配属され、筑波大学 医学医療系 ゲノム生物学の村谷先生に指導を受けながら、日々勉強しております。これからは、遺伝子診断に基づいた個別化医療がますます普及していくこととなります。医薬品の開発や創薬においても、全遺伝子の解析はますます需要が高まることになると思います。本センターでは、主にRNAシーケンス、Exomeシーケンス、ChIPシーケンスのサービスを行っております。

施設の紹介はこれくらいにして、現在医療科学類に在籍している皆さんは、卒前実習の際に本センターに来ることがあるかと思いますが、これから国家試験を受け検査技師として、病院で働くことや検査センターで働くこと、疑問点や興味のあることを気軽に質問していただければできる限りこたえたいと思います。本センターには、筑波大学の医療科学類を卒業した検査技師が私を含めて3人検査業務に従事しています。うち1人は修士課程を経て就職、もう1名は、働きながら修士課程へ2018年4月からチャレンジしております。大学に近い環境だからこそ、いろいろな情報や刺激を受けながら働くことができる良い施設だと思っております。



学会にて演題発表中の筆者

沖縄県から18歳のころに飛び出し、検査技師として働いて10年が経ち、今年で34歳になってしまいます。時間が過ぎるのはとても早く、近い将来茨城で過ごす時間が沖縄にいた時間を越してしまいます。これから先の検査技師生活、まだまだ新しいことや分からないことがたくさんあり、勉強することは尽きません。少しずつでも成長できるように私自身も継続して努力が必要だと感じております。

一緒にi-Labで働きたいという方や、話を聞いてみたいという方はいつでもお待ちしておりますので連絡ください。メールアドレス：[ishibashi@tsukuba-i-lab.com](mailto:ishibashi@tsukuba-i-lab.com)

長くなりましたが、最後まで読んでいただき誠にありがとうございました。なにか参考になることがあれば幸いです。

編集後記: 医療科学類の卒業生をリレー形式で追う本企画。第4回目はつくばi-Labにて臨床検査の最前線で活躍する石橋さんをお願いしました。医療科学類卒業生のキャリアパスを知ってもらうことで、現役生が将来の進路選択を考える上でのよいきっかけになってくれれば幸いです。

また、「ぜひ、リレーエッセイを書きたい!」という医療科学類関係の方を随時募集しております。

\*記事内の転載部分の文章・写真については、正式に書面での転載許諾を頂いた上で使用しています。

(TMER ホームページ: <http://www.tmer.or.jp/index.html>)

制作:桐枝会(筑波大学 医療科学類同窓会) 医療科卒業生リレーエッセイ編集チーム



医療科卒業生リレーエッセイ

Copyright Medical Sci. Alumni Association, all right reserved